

平成28年度三重同友会活動基本方針

今年度は中期ビジョンを掲げる2年目として、中期ビジョンの方針・課題に基づき、地域から信頼され時代をリードする中小企業家団体となるための取組をまとめました。

会員1人1人が主役となり、主体者として役割を果たし以下の活動に取り組むことで、同友会運動の更なる発展に繋がるものと確信しています。

◎中期ビジョン活動テーマ

テーマ 「学びと実践を通じて、成果を追求」

～経営指針を羅針盤として、未知の時代を生き抜く！～

◎中期ビジョン基本方針

- ①企業づくりを活動の根幹とし、学びと実践のサイクルを語り合う
- ②組織の若返りを図り、同友会理念や労使見解等の基本精神の継承を図る
- ③共に学び、地域を支える仲間づくりに取り組み、2020年515名の会勢を実現する

◎中期ビジョン活動方針

(企業づくり)

- ①労使見解の精神に基づく経営指針づくりと実践を通じて、企業変革と企業の黒字化を図る
- ②情勢の認識や海外を含めた域外への展開など、経営者として視野を拡大し戦略的な経営に取り組む

(同友会づくり)

- ①同友会の特徴（他団体との違い）づくりとして、経営指針の成文化と実践を柱とし、会員による自主運営を通じて、「考える」と「実行する」の修練の場と位置づける
- ②理事役員の若返りと継承を図るため、会員拡大と役員登用を促進する
- ③多様化する活動を整理し、集中と選択を図る

(地域づくり)

- ①同友会の活動を発信し、地域の方への理解浸透を図る

◎上記を軸として、同友会3つの目的の実践による21世紀型企业づくりを促進する

※同友会のめざす21世紀型企业像

- ・自社の存在意義を改めて問い直すとともに、社会的使命感に燃えて事業活動を行い、国民と地域社会からの信頼や期待に高い水準で応えられる企業。
- ・社員の創意や自主性が十分に発揮できる社風と理念が確立され、労使が共に育ち合い、高まりあいの意欲に燃え、活力に満ちた豊かな人間集団としての企業。そのベースとして、「平和社会の建設」「地球環境保全」の理念をすえる。

◎平成28年度の取組課題

<企業づくり>

①労使見解の精神に基づいた経営指針を実践しよう

- 情勢分析に基づき自社の立ち位置を確認した上で、経営理念のもと企業の進むべきビジョンを明らかにし、社員と共有化を図るとともに経営計画まで落とし込み、労働環境の整備と併せて全社一丸となれる企業づくりに取り組みましょう。
- 労使間の強い信頼関係を企業発展の原動力として、共に学びあい、育ちあえる企業づくりを推進しましょう。
- 若者に魅力ある企業づくりをすすめ、計画的な採用・教育を通じて人が定着する社内の仕組みや風土づくりをすすめましょう。

②強みを活かした仕事づくりと市場づくりを

- 企業の自立化・ブランディングを図り、新たな仕事づくりや付加価値づくりに取り組みましょう。
- 海外市場を視野に含めて、現在の活動域外への展開による販路開拓や、自社の強みが活きる市場・顧客の開拓に取り組みましょう。

③魅力あふれる経営者になろう

- 中小企業の発展と繁栄のためには、経営を担う経営者としての資質向上を図ることが重要です。日々の活動を通じて経営者としてのマナーや振舞いを意識し、社員をはじめ他の経営者が魅力を感じる経営者をめざし、資質と品格を磨き合ひましょう。

<同友会づくり>

①同友会のPDCAサイクルをまわそう

- 会員自らが自主的主体的に運営を行なうとともに積極的に行事に参加し、運営に係わる中で擬似的体験による学びなど会活動を通じて得た学びを実践しましょう。そしてその成果や結果を検証する場として位置づけ、取り組んでいきましょう。
- 自らの経営を語るとともに経営者としての資質や能力を高め合い磨き合う場としてグループ討論を位置づけ、話しやすい雰囲気づくりとグループ長のスキルアップに努め、グループ討論の充実と活性化を図ります。

※同友会での学びのサイクルとは

「同友会で学ぶ／Plan（計画）→会社で実践し、成果（結果）を出す／Do（実行）→報告者となり成果を検証する／Check（検証）→修正・改善を図り再実践／Act（改善）」

②三重同友会2.0をめざして

- 理事役員の世代交代と継承を図りつつ、同友会の魅力でもある幅広い世代間の交流を促進します。経験豊かなベテラン会員との交流機会を拡充し、知識・経験をはじめ同友会活動の歴史や考え方を学ぶ場として取り組んでいきます。
- 委員会活動と支部活動の連携をすすめるとともに、委員会活動の自主的・組織的な運営を図ります。
- 三重同友会は、次の40周年に向けて不易流行の精神で新たな三重同友会づくりをめざし、2020年までにバージョンアップを果たすべく取り組んでいきます。

③学び合う仲間を増やそう

- 増える組織・減らない組織づくりに向けて、入会までの仕組みとして活動説明会の定期開催と入会後の会員フォロー体系の構築を図るとともに、同友会の持つネットワークを生かして外部への発信をすすめます。
- 仲間づくりの一環として、自主運営を基本として部活動やサークル活動を募り、交流の場づくりをすすめます。

<地域づくり>

①地域と関わり、地域を生かす経営に取り組もう

- 地域の行政をはじめ大学や研究機関・金融機関との連携交流を図り、地域資源・外部資源の活用をすすめます。
- 教育機関との連携を図り、次代を担う若者との交流機会の創出に取り組みます。